

山形から岩手、
そして福島へ。



1ターン就職

PROFILE

岡本工業(株) 塙第一/塙第二工場
生産技術課 主任 勤続10年

梅津 敬弘さん

山形県出身。岩手の大学で機械工学を学んだのち、岡本工業(株)へ入社。

16 外からの視点を大切に 働き方の効率化に挑む。

Time Table 梅津さんの平日スケジュール

- 7:00 起床・身支度
- 7:30 自宅出発
- 7:40 会社到着
- 7:50 ラジオ体操・全体ミーティング
- 8:00 始業開始：メールチェック、社内の修理・改善依頼書等確認
- 8:30 課内ミーティング
- 9:00 午前の業務開始
現場からの修理・改善依頼
- 12:20 昼休憩
- 13:00 午後の業務開始。午前の続きを行う。
- 17:00 終業時間
- 17:30 プライベート
- 0:00 就寝

■ 会社を決めた理由

福島に1ターンをすることになったきっかけは、大学4年生の4月頃、研究室に岡本工業(株)のリクルーターが来て、熱心に企業説明してくれたことでした。大学では機械工学を学んでいて、ものづくり関連への就職が視野にありましたが、信頼している教授から「仕事内容が面白そうだから行ってみたら」と推薦されたこともあり、入社を決めました。中小企業なので「自分がやりたいこと」に対する自由度が高そうだと考えたことも理由のひとつです。元々親戚が福島県内にいたので、福島県への移住に不安はありませんでした。

■ 仕事に対するやりがい

普段の仕事内容は設備の導入や修理、それに伴う場内レイアウトや治工具類の設計など、第一・第二工場の設備管理をしています。2011年には第二工場の立ち上げ準備に携わりました。更地の状態から、どこに機械を設置するか、レイアウトを一から考えるのが難しかったです。答えのない問題にぶつかるのは、学生の時と違って苦労するところでした。

仕事も自分の
時間も大切に!

休日の過ごし方



休日には気の合う仲間と出掛けたり
食事会を楽しむ。

大学卒で、福島県外から来ている立場なので、外からの視点で、職場の人たちやお客様の声を吸い上げて、今ある工場の状態を改善していくことが求められていると考えています。改善をしたらやりっぱなしではなく、その結果として従業員が働きやすくなったと実感できた時や、困りごとを解決してお礼を言われた時、やりがいを感じられます。

■ 休日の過ごし方

休日は洗濯と部屋の掃除をしてから、自宅でのんびりしたり、買い物に出かけたりします。先輩が福島ファイヤーボonzのファンで、一緒に試合観戦に出かけたり、塙の町営体育館を借りて、職場の方と一緒にバスケットボールをやったりしています。一人暮らしで職場の近くに住んでいるので、平日も自分の時間をつくりやすいです。

■ しらかわ地方のここが好き!

アクセスの良さが魅力です。車で1時間程度で様々な所にアクセス出来るので、栃木や茨城など関東圏に出かけて買い物をしたり、遊びに行ったりします。実家のある山形にも3時間くらいで行けるので、長期連休や時間のある時には帰省しています。



■ 就職活動のススメ

しらかわ地方は自動車生活圏なので、運転免許は必ず取った方がいいです。それから他県から来た人にとって、県南の方言は「～だばい」とか「～だっべ」など、語気が強く感じるので、聞き慣れていないと相手が怒っていると錯覚しやすいかもしれません。実際は怒っているわけではないので、議論するときは気後れせず自分の意見をしっかりと言うことが大事です。

■ これからの目標

人手を割いている作業を自動化していき、その分を本当に人にしか出来ない仕事に割り振れるようにしたいと思っています。例えば外観検査は女性のパートさんが主に行っていますが、性能の高い検査機械を実用化できれば、パートさんは別の仕事ができるようになるので、作業の効率化を目指していきたいです。

会社概要

岡本工業株式会社 塙第一/塙第二工場

住所 〒963-5342 塙町大字伊香字中妻241-5(塙第一工場)
〒963-5407 塙町大字西河内字上福沢1-3(塙第二工場)

電話 0247-43-1111(塙第一工場)
0247-43-1911(塙第二工場)

創業 平成2年12月
資本金 30百万円
代表者 工場長 菊地 要三
社員数 141名
事業内容 自動車部品旋削加工



HPはココから!



採用予定 高卒・大卒・中途

就業体験 インターンシップあり